

「第8回 応用地質技術入門講座」開催のご案内

主催：応用地質学教育普及委員会

標記研修会を下記の予定で開催します。2泊3日の現地研修です。事前に半日のオンライン講習を行います。新型コロナウイルス感染による宿舍の定員規制の関係で、例年と異なり日時をずらした2班構成（各班20名）での開催となります。なお、新型コロナウイルス感染症の今後の状況によっては中止することがありますのでご了承ください。

記

日 時：1班：2022年5月30日（月）昼頃 JR常磐線磯原駅集合 6月1日（水）昼頃同駅解散
2班：2022年6月1日（水）昼頃 JR常磐線磯原駅集合 6月3日（金）昼頃同駅解散

目 的：若手技術者を対象とし、露頭観察、ボーリングコア観察の方法・留意点を現地研修で習得します。また、社会と応用地質学に関する関係、地形の捉え方の概要を学ぶとともに、それらを総合して地質断面図作成の基礎を学ぶことで、地質技術者として必要な初歩的な応用地質技術の習得を目指します。

開 催 地：茨城県高萩市横川 小山（こやま）ダムサイト周辺

宿 泊 地：茨城県北茨城市華川町小豆畑 2747 マウントあかね

募 集 対 象：地質技術者としての実務経歴が概ね3年未満で、現場地質調査等の経験があまりない技術者、あるいは応用地質技術に関連した知識を身に着けたい技術者や、今後この分野への取組みを目指す学生、およびそれと同等な研究者を対象としています。会員、非会員を問いません。ただし、新型コロナウイルスワクチンを2回接種済であることが条件です。

募 集 人 員：1班、2班とも各20名 計40名 各班とも定員に達し次第募集を終えます。

研 修 内 容：事前のオンライン講習および現地研修の内容は以下を予定しています。現地研修B2・B3では、4～5名に1名の講師によりコア観察と柱状図作成の实地指導、支援を行います。

A 【講義】応用地質学という分野の意義と社会的位置づけ、地質調査の目的と内容

B1 【講義】ボーリングコア観察とボーリング柱状図の作成方法、要領

B2 【実習】花崗岩の露頭観察、および露頭スケッチの要点

B3 【実習】花崗岩のボーリングコア観察、柱状図作成

C 【講義】応用地質分野における地質図作成の基本、表現方法

D 【講義・実習】地質調査結果の取りまとめ、地形および地質断面図作成の基本

参加費：一般 会員 45,000 円（個人会員のみ、賛助企業所属会員は非該当）
非会員 60,000 円（開催日までに入会される方は、会員価格で可）
学生 会員 30,000 円
非会員 40,000 円（開催日までに入会される方は、会員価格で可）

（現地での宿泊費、食事代、現地移動バス代、研修会場費、研修資料費、研修に関わる保険料を含みます。集合地の JR 磯原駅までの旅費交通費はご自身でご負担ください）。

参加申込：参加希望者は、メールにて下記内容を記入の上、下記学会事務局・第 8 回入門講座担当宛までお送りください。なお、事後の連絡は申込者宛てとしますので、参加者以外の方が申し込みをする場合、あるいは参加者が複数の申し込みをする場合は、参加者への連絡周知をお願いします。

申込記載項目

- ①氏名（ふりがな）
- ②希望する班（1 班か 2 班）
- ③会員・非会員の種別
- ④勤務先（学生・院生は大学名と学年）
- ⑤地質技術者としての経験年数（学生・院生は記入しなくて結構です）
- ⑥連絡先（電話、メールアドレス）
- ⑦新型コロナウイルスワクチン接種状況
（2 回目接種日を記載、3 回目接種済みの方はその接種日も記載）

申込期間：2022 年 4 月 4 日（月）～2022 年 5 月 9 日（月）

なお、各班とも定員に達し次第、申込期間中であっても募集を終えます。

C P D：25CPDH（土質・地質技術者生涯学習協議会 GEO Schooling net 発行）

申込先：一般社団法人 日本応用地質学会 事務局 第 8 回入門講座担当宛
TEL：03-3259-8232 FAX：03-3259-8233 E-mail：office@jseg.or.jp

備考：事前のオンライン講習の日程および現地研修の行程・内容の詳細は、参加者が確定した 5 月中旬に参加申込者に通知します。

以上